

病院再開発計画の進捗状況について

～C病棟の改修工事が完成しました～



滋賀医科大学医学部
附属病院長
柏木 厚典

附属病院再開発はC病棟の完成により第2段階が終了し、平成20年6月7、8日の2日間でスムーズに移転いたしました。病棟部分の大部分が完成し、このあと小児科病棟、母子診療科、女性科病棟の再開発が残っています。C病棟2階には回復期リハビリテーション46床が稼働し、早期のリハビリテーションが強化されました。

新しく稼働した病棟の紹介

1 C病棟は精神科病棟で、睡眠障害を診断する脳波室を2室敷設しました。2 C病棟に今回再開発の1つの特徴である回復期リハビリテーション病棟が46床設置され、特色ある急性期リハビリテーションの強化が期待されています。しかも今年新設された患者支援センターと共同で、入院患者さんを自宅、地域のクリニックへ紹介することを推進いたします。3 C病棟は呼吸器センターで呼吸器疾患に関して内科、外科が共同して診療に当たり、病室の一部は感染症対応が可能な部屋となっています。更に救急部管理の病床が6床あります。4 C病棟は消化器、血液内科病棟となり無菌室が増設されています。5 C病棟は耳鼻咽喉科、皮膚科病棟で、6 C病棟は内分泌代謝、腎臓、神経内科が共同で診療に当たります。また6Cには特別室Aが4床あり、13,650円/日の個室料となっています。C病棟の個室率は23・2%（284床中66床）となっており、残りは4床部屋となり、入院環境が大幅に改善いたしました。



脳波室（1C病棟）



無菌室（4C病棟）



個室（6C病棟）

滋賀医科大学医学部附属病院再開発計画工程表

平成20年7月15日現在

区分	18年度			19年度			20年度			21年度			22年度			23年度		
	4	6	8	10	12	2	4	6	8	10	12	2	4	6	8	10	12	2
病棟改修	設計																	
	C病棟改修工事						移転			20年3月末竣工 20年6月7日～ 6月8日移転			B棟仮移転			21年3月末竣工 21年5月16日移転		
中央診療棟増築	20年10月13日 仮移転 21年5月16日迄																	
	設計準備			A棟改修工事			B棟改修工事			移転			21年10月末完成 21年11月頃移転					
中央診療棟改修 (給食棟・リハビリ)	21年11月着工																	
	仮厨房期間 20年9月27日～ 21年3月末迄						設計準備			中央診療棟増築			21年9月末竣工 21年11月頃～ 稼働予定			給食棟2F 栄養治療部改修 21年6月～9月末		
中央診療棟改修	厨房改修期間 20年10月頃～ 21年3月末迄																	
	設計準備			耐震改修			耐震改修			設計準備			中央診療棟改修工事			リハビリ改修 (材料部跡地) 21年11月～3月		
外来棟改修	設計準備																	
	設計準備			耐震改修			耐震改修			設計準備			外来棟改修工事					

今後の病院再開発について

今後の再開発の概要を紹介いたします。平成20年9月に仮厨房の敷設が終了し、来年3月中旬に新厨房が完成いたします。また来年10月までに小児科病棟、母子診療科・女性診療科病棟の改修工事が完成いたします。その間に4階には、かつての4A病棟側に卒後臨床研修センターを敷設し、研修医室、レジデント室、カンファレンス室、医療実技研修ができるスキルラボの大きな部屋を確保いたします。一方4B病棟側には光学診療部を2床から4床へ増床し、感染対応の透視

室、洗浄室を設置いたします。更に腫瘍センターを新設し、その中に化学療法部を現在の6床から15床へ増設し、また細胞治療センターを開設いたします。この間に新手術棟が増設され、3階部分に6新手術室が増設される予定で、その2階部分はスタッフ休憩室、更衣室などが作られます。1階部分に備蓄、保管庫、洗浄室、SPDセンターなどを設置いたします。更に来年秋から外来部門、中央診療棟の改修工事をスタートし、全改修工事は平成23年度末までには終了する予定となっています。